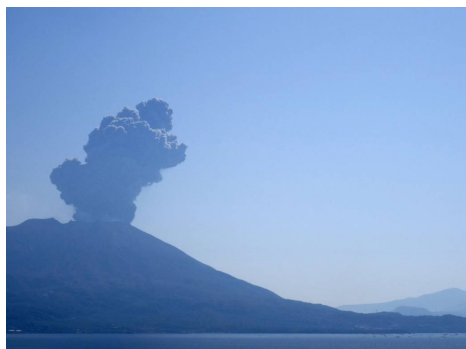


3. 噴煙上昇から次の噴火へ： 2016.4.30_9:25, 10:24

3-1. 経過の一覧

気象台のリストによると、4.30には昭和火口から午前3例・夜2例の噴火・爆発があった。リストでは、9:25 3600m 流向S, 9:42 1700m 流向E, 10:24 3200m 流向SEとある。3000m級の2例を含む午前の経過を、B点からの写真で見よう。



B 1 [_092728k](#)



2 [_092759k](#)



3 [_092834k](#)



4 [_092938k](#)



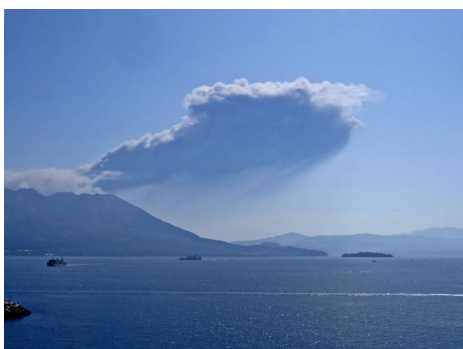
5 [_093016k](#)



6 [_093130k](#)



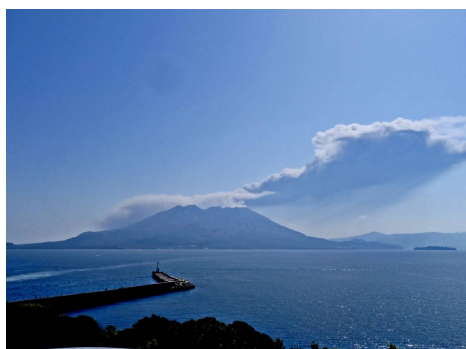
7 [_093402k](#)



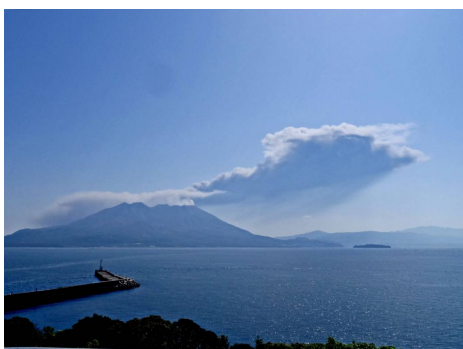
8 [_093821k](#)



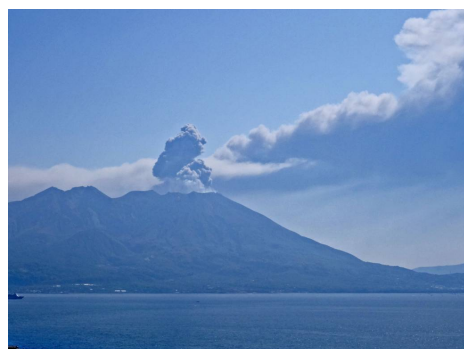
n1 [_094106n](#)



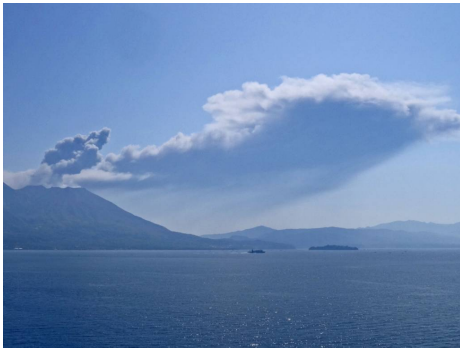
9 [_094208k](#)



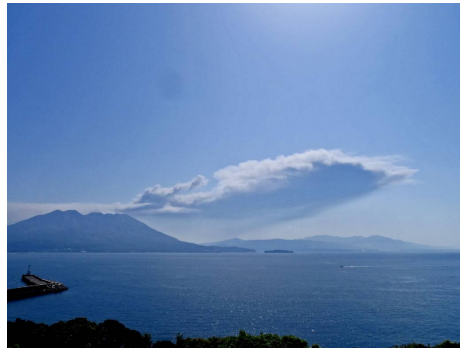
10 [_094230k](#)



9:42 Erup., 11 [_094408k](#)



12 [_094628k](#)



13 [_095242k](#)



n2 [_095743nrc](#)



10:24 Expl. : 14 [_102606k](#)



15 [_102627kd](#) 上cut



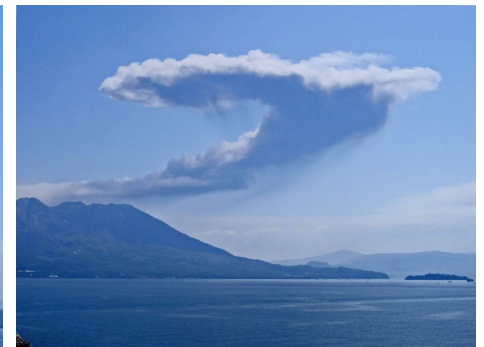
16 [_102712kc](#) 上下cut



17 [_102736kd](#) 上cut



18 [_103025k](#)



19 [_103813k](#)



20 [_103826kc](#) 上下cut

カメラはカラーがk, モノクロ n は近赤外撮影で、SONY DSC-V3 NightShot modeで IR filterを用いる。

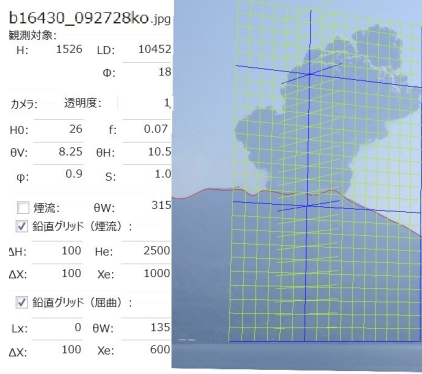
9:25の爆発に続く灰煙放出が途切れかけた頃、9:42の小噴火があった。後者の噴煙塊は9:52-57には前者の一部のように見える。これらが流れ去った後、10:24の爆発が起こった。

レーダの9-10, 10-11時積算画像の流向はSEが主で、近距離ではEからNEにも流れている。高度分布や時間依存性の比較検討は残されている。

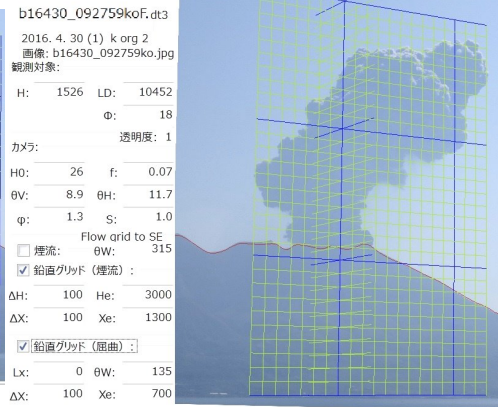
3-2. 10時までの写真解析

レーダの積算画像の主流向SEに沿った $\theta W=315^\circ$ の鉛直グリッド(煙流)を示す。もう一つのグリッドは、始めの2枚では風上に向かう $\theta W=135^\circ$ に用い、3~10では煙流グリッドに直交しSEに向かう $\theta W=225^\circ$ とした。11ではEへ、13ではESEへ向かうとした。これらの比較から、9:25の爆発噴煙塊が海拔5000m近い高度で大よそSEへ流れていると思われる。

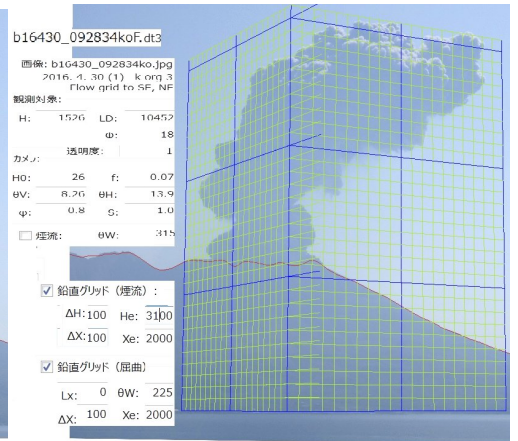
なお、9:42の小噴火は南岳火口からと思われる(11)。



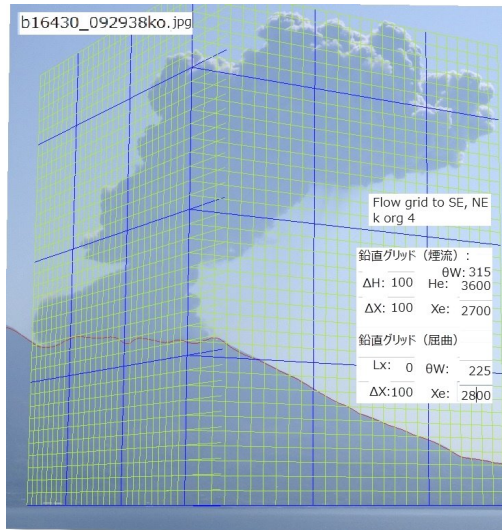
B 1 [_092728kF](#)



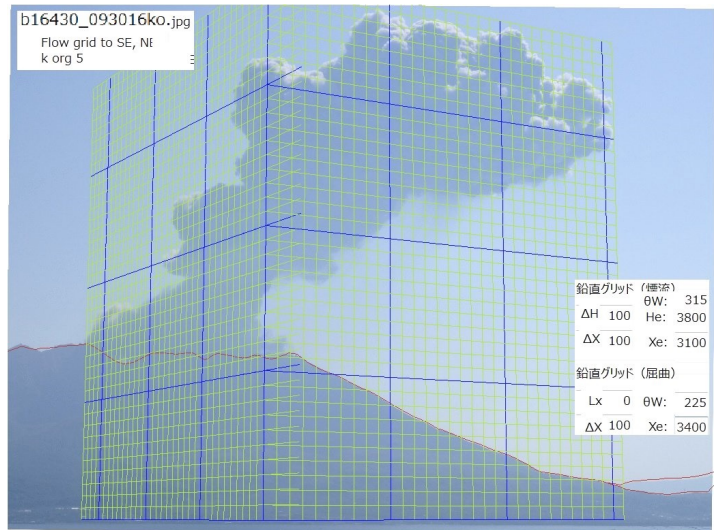
2 [_092759kF](#)



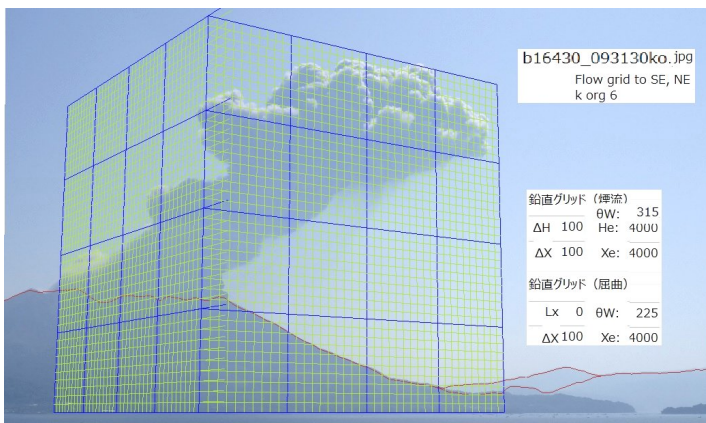
3 [_092834kF](#)



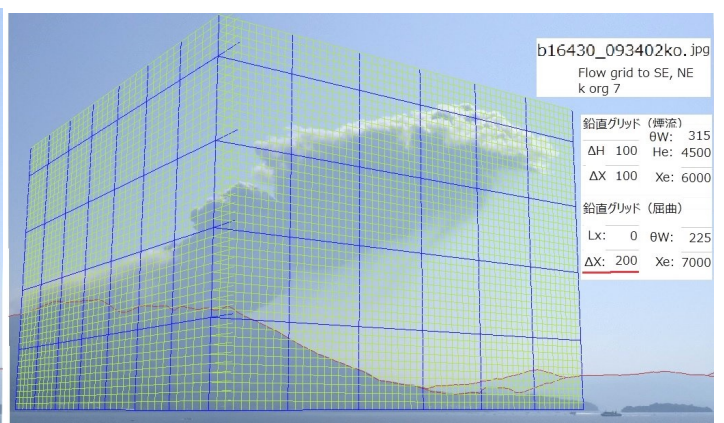
4 [_092938kF](#)



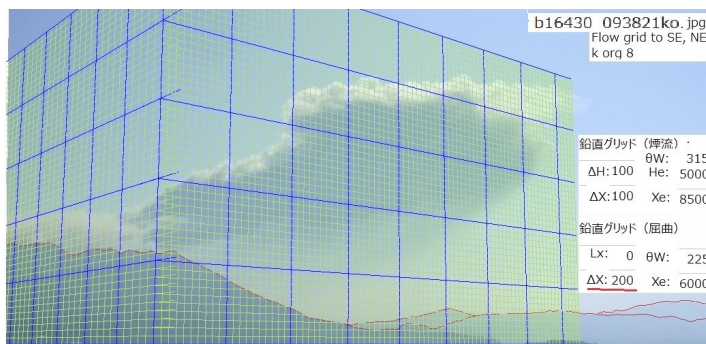
5 [_093016kF](#)



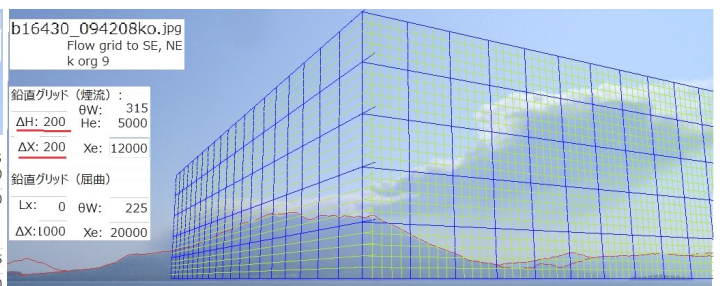
6 [_093130kF](#)



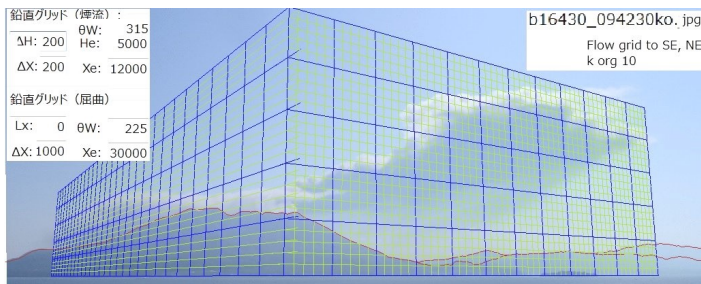
7 [_093402kF](#)



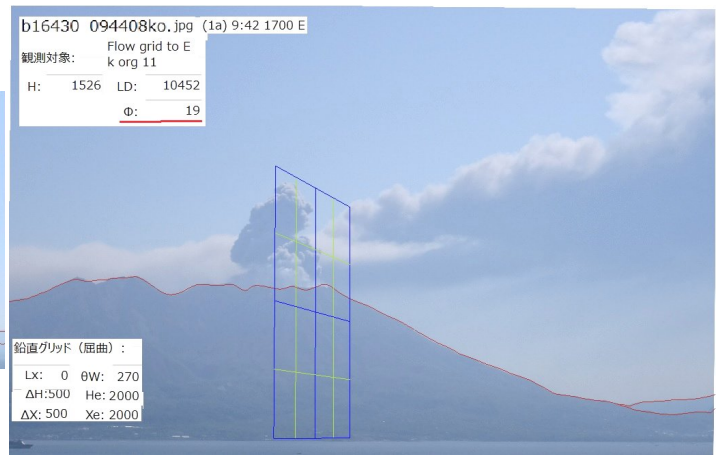
8 [_093821kF](#)



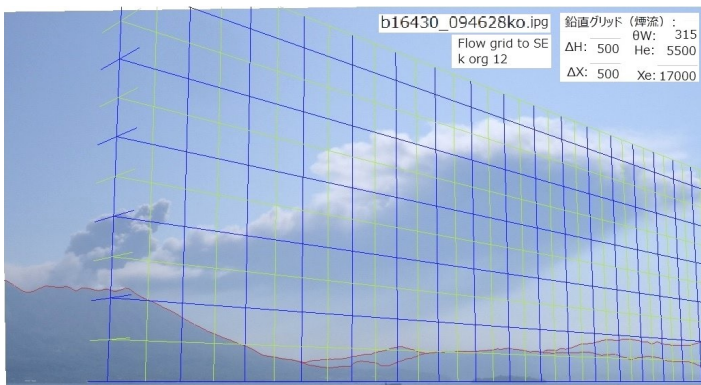
9 [_094208kF](#)



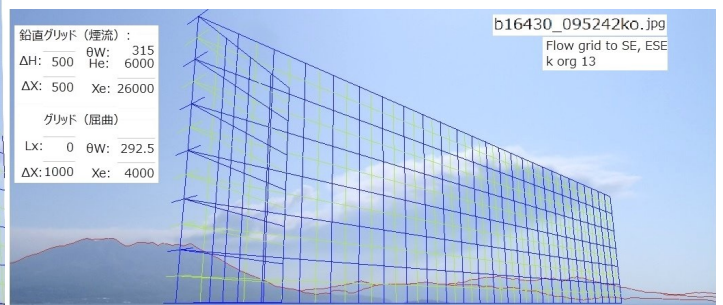
10 [_094230kF](#)



11 [_094408kF](#) 南岳火口!



12 [_094628kF](#)



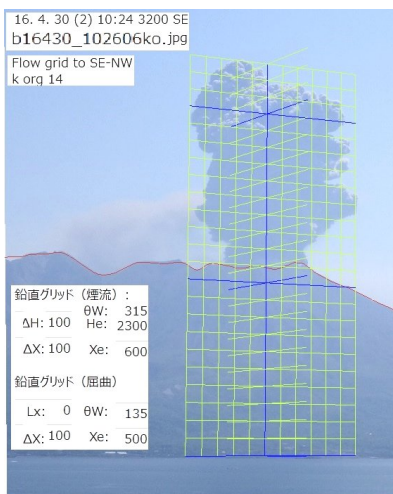
13 [_095242kF](#)

3-3. 10:24爆発以後の写真解析

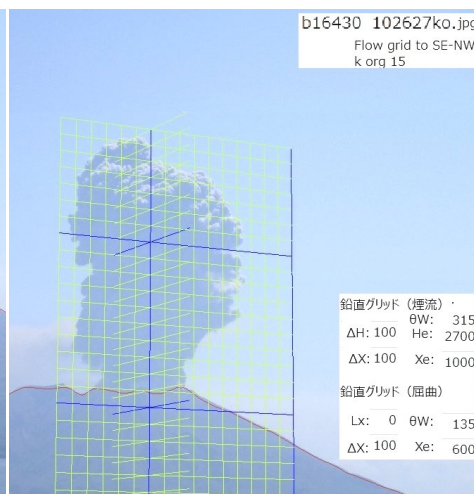
はじめの3図14~16では、2つの鉛直グリッドをNW-SEに並べ、17を略し、

18~20ではSEに向かう煙流グリッドは残し、屈曲グリッドを $\theta W=180^\circ$ としてNへ向かわせ噴煙上部の形態と風向の高さによる違いをつかむ手掛かりとする。

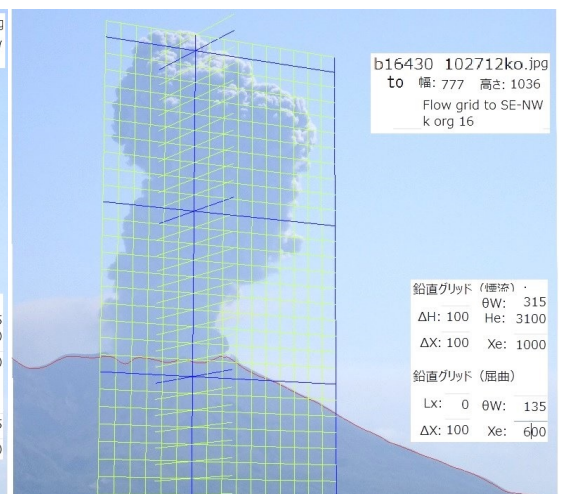
以下の図から、流向は大よそSEであると云える。グリッドのトップHeは海拔高度(m)であり、昭和火口からの噴煙高度に換算できる。



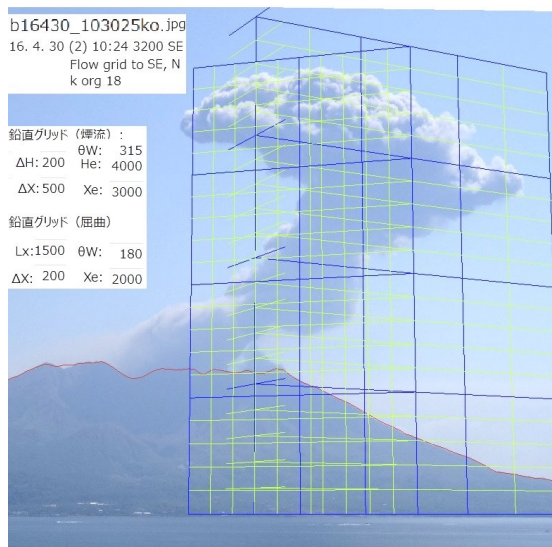
B 14 [_102606kF](#)



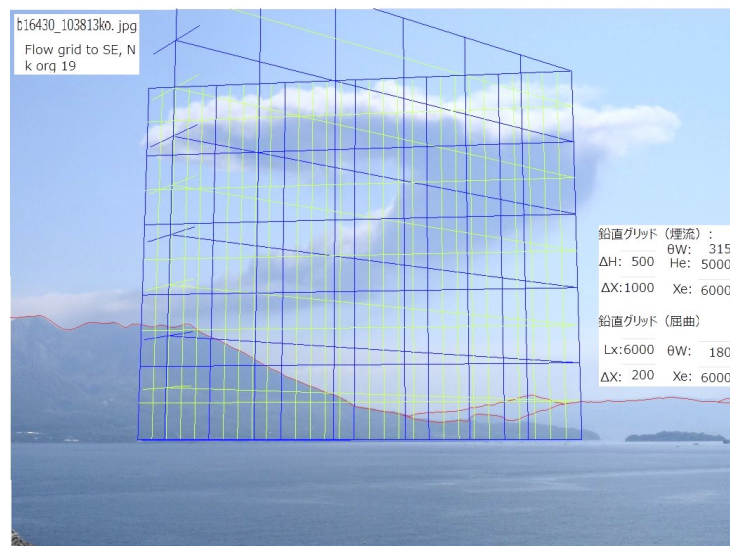
15 [_102627kF](#)



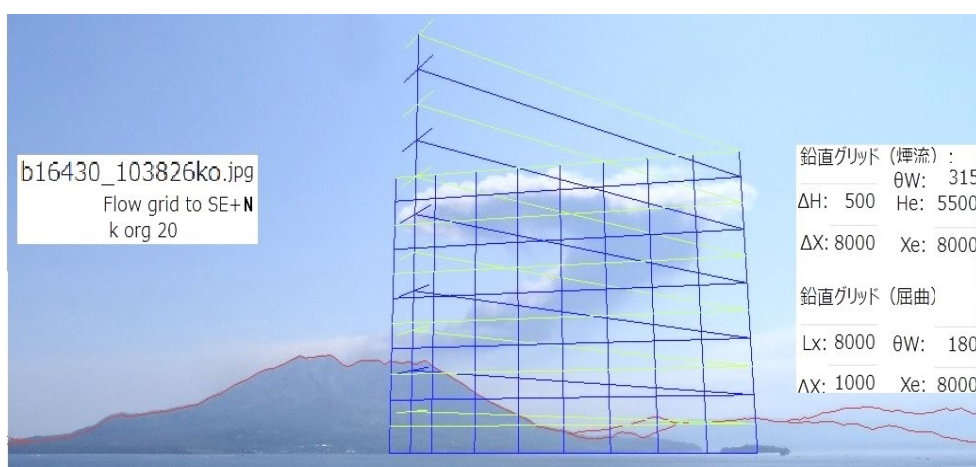
16 [_102712kF](#) , 17 略



18 [_103025kF](#)



19 [_103813kF](#)



20 [_103826kF](#)